

夢のメッセージボトルFrom西さがみ 2009

10月18日(日) 新月

映画「黒潮物語～海からの贈り物～」

文部省選定作品 脚本監督・小林大平

真鶴町民センター 3階 講義室

14時開場、14時30分開演

映画鑑賞・メッセージ用紙・メッセージボトル代
夢を含んだ入場料

大人 1500円

小中学生 500円

未就学児 無料

主催 夢のメッセージボトルfrom 西さがみ

共催 黒潮物語・元気な子の会

後援 財団法人 日本海事広報協会

社団法人 日本海洋少年団

日本外務省駐ラオス日本大使館

小田原市・小田原市教育委員

真鶴町・真鶴町教育委員会

財団法人 かながわ海岸美化財団(申請中)

11月3日(祝・火) 満月

メッセージボトル放流イベント

会場・真鶴三ツ石海岸

受付 10時から ケープ真鶴 横

イベント参加費 500円

メッセージ用紙に記入1枚 500円

参加費の一部を真鶴町「みどり基金」へ寄付

メッセージ放流後、ビーチクリーン&ビーチコーミング

ケープ真鶴 駐車場にて

フラダンスショー&コンサート

新鮮野菜・フリーマーケットなどの出店

(フリーマーケット出展者様募集中!!)

協賛者 企業・個人 & ボランティア
スタッフを募集しています。

協賛して下さる企業や個人の方を募集しております。

1口 3000円 何口でも(イベント特典あり)

イベント実行ボランティアスタッフも年齢問わず募集しております。お気軽にご連絡ください!

11月3日(祝・火) 満月

トワイライトメッセージボトルクルーズ

会場・真鶴半島遊覧船

17時受付 17時30分乗船

大人 2500円(中学生以上)

小人 1500円

親子割引

3500円

☆午前、夕方共に参加した方は2回放流できます

受付けたメッセージはコピーし、ラオスへ運び
メコン河でも放流します!

メッセージのみの参加も募集!

特別価格! 1枚500円(通常1500円)

協賛各店・HP・メールにて

お問い合わせ

・夢のメッセージボトル from 西さがみ 事務局
高橋 友季子

TEL 090-2409-6917

Email scarabe.312@ gmail.com

HP <http://messagebottlesagamiseesaa.net/>

・「黒潮物語」元気な子の会 代表 小林一平

TEL 090-8961-5019

Email kobayashi@kuroshio-bottle.org

HP <http://www.kuroshio-bottle.org/>

イベントテーマ

「昭和ノスタルジー」という言葉があります。「昭和」とは貧しくとも心が豊かだった、物はなくとも夢があった・・・そんな時代だと言われていています。一方で現在を顧みると、我が国は先人達の多大な努力のおかげで世界でも有数の豊かな国となりましたが、TVからは毎日のように流れる暗いニュース・地球環境の悪化・不審者・凶悪犯罪の増加により外で遊べなくなった子たち・・・知らぬ間にどこか閉塞感を覚える時代になりなんとなく大人も子ども達も未来への夢を置き忘れてしまった気がします。



この『夢のメッセージボトル』イベントは一本の映画「黒潮物語・海からの贈り物」（文部科学省・選定、各都道府県知事推奨・各機関推薦）から生まれたイベントです。島崎藤村の「椰子の実」の想いにならない各々の夢を一本のメッセージボトルに託し海に放流する・・・一本のメッセージボトルが知らない地域の交流を生み、そして未来を育む子ども達の友情を育ててまいりました。小林一平が主宰する『「黒潮物語」・元気な子の会』では会発足以来、国のイベント（海フェスタ）や神奈川県開催のイベントや各地で大きな成果をあげております。これらイベントは子ども達の『映画のような友達がほしい、夢を見たい！！』と言う声から生まれました。

海を通して友情が生まれ交流へと発展していき、地域と地域が繋がっていきます。我々は、海離れの多い現代の子ども達に、本来の海の素晴らしさ、海の持っているロマン、海の恩恵なども体験してもらいながら豊かな感受性を養う事が出来ることを期待しております。

また、地球環境を考えるイベントとして、海岸清掃やメッセージボトルの放流地（真鶴海岸）の恵まれた自然体験や歴史と文化にも触れ、この地を訪れる人たちへ大きな心を育てたいと思っております。

協賛いただける方々へ

本イベントを成功させるためには、皆様のご賛助・ご協力が不可欠です。もしお心付き頂けるのであれば、お気持ちで結構ですので協賛費をご援助頂けましたら幸いです。（尚、ささやかではございますがそのお礼として、本イベントのパンフレットに貴社名を記載させて頂く、イベントチケットプレゼント等考えております。）そして協賛頂ける方々も可能であればぜひメッセージボトルのイベント（H21.11.3）に参加頂き、参加者と共に夢を共有頂けたらと思います。

メッセージボトルに入れるメッセージは今の時代の電子メール等と違って、何時・何処に・誰に届くかもわからない、ヤシの実のロマンともいえます。

尚、届かなかったメッセージボトルは海上保安庁より「郵便物として扱う」旨、連絡を受けております。

このイベントで大切なことは『ボトルを子どもたちが夢や希望をもって流すこと また、誰かに届くことを願って流すこと』だと思っています。

子ども達のメッセージには誰に習ったでもなく自分の夢や希望のほかに、自然環境が良くなる事・戦争がなくなり平和であること・だれかの幸せや健康を願うことが含まれています。

私の友人のお子さんは地球環境の授業を受けてからしばらくして「僕達は生きていたらいけないの？」とお母さんに聞いたそうです。

何気なく目にしていた海岸にいつかメッセージボトルが届くかもしれない、という意識が彼らの住んでいる土地に対する愛着が生まれるのではないのでしょうか。そして果てしない水平線の向こうには国境という線はなく同じ暮らしをもつ人々がいて、海からは食べ物であり同じ命である水産資源や、それらを育む森（魚つき林）からも沢山の恩恵をいただいています。

このイベントを通して目に見える形での環境貢献は、海岸清掃や基金ですが、子や大人たちの夢や未来へのまなざしを少しでも明るく、楽しくなってほしい・・・と思っています。

そしてなによりも子ども達の『大きな夢』を波に乗せて運んであげたい・・・どこかに届くといいなあという思いを大切にしたい・・・そんな想いがあります。

必ず届くかどうかはわからない・・・

だけど、子ども達の夢をのせた『夢のメッセージボトル』です。

